

科 目 名	看護教育論 Nursing Education		科目区分	共 通	単 位 数	2 単位
教 員 名	高橋佳子＊，谷口千枝＊，小松万喜子＊， 小山真理子＊，白鳥さつき＊ ＊：実務家教員		必修・選択	選 択	開講年次	第 1 学年
					開講学期	前学期
科目概要	看護の専門性と看護の質を高めるために，教育・保健・医療・福祉の場における看護職者の役割を探究し，看護職者等を教育・指導するための知識と技術を修得する。また，看護の役割を拡大するための継続教育，生涯教育の在り方と特徴を理解し，専門職としてのキャリア開発について探究する。					
目 標	1 看護教育制度の歴史的変遷を客観視し，看護教育制度の現状と問題点を述べるができる。 2 看護実践力を支える教育について学修し，基礎的な理論および教育の方法について説明できる。 3 継続教育・生涯教育のあり方について理解を深め，自身のキャリア開発について説明できる。 4 教育または研修計画の立案等して体系的な教育計画の重要性を述べるができる。					
内 容	1	看護教育の歴史看護教育制度の変遷	看護の教育的機能 看護教育制度の発展と歴史的経緯			小松万喜子
	2		看護教育の歴史① 看護基礎教育の教育内容及び看護教育制度の変遷			
	3		看護教育の歴史② 看護教育の発展の経緯と今後の課題			
	4	看護教育に必要な学習理論と学修成果	看護の教育的機能を高めるための方法① インストラクショナルデザイン			高 橋 佳 子 谷 口 千 枝
	5		社会的学習理論/自己効力感			
	6		看護の教育的機能を高めるための方法② 学修成果の評価とフィードバック パフォーマンス評価/ルーブリック評価			
	7	看護継続教育と生涯教育	生涯教育としての看護職人材育成① 看護継続教育，新人看護師教育			小山真理子
	8		生涯教育としての看護職人材育成② 看護教育における倫理			
	9		看護継続教育の様々な方法，プリセプターシップ他			
	10		クリニカルラダー(目的，活用，評価)			
	11	キャリア発達とキャリアマネジメント	看護専門職のキャリア開発の特徴と支援の在り方			白鳥さつき
	12		看護におけるキャリアマネジメントの必要性和組織との関係			
	13	看護政策	看護政策と看護教育 社会の変化と看護教育への影響			白鳥さつき
	14	まとめ	看護専門職としての教育的機能に関する総括 教育計画または研修計画の発表			高 橋 佳 子 谷 口 千 枝
	15					
学修方法	1 授業運営は，講義，ディスカッション，プレゼンテーション等のアクティブラーニングを用いる。 2 各項目で十分な事前・事後学修が必要となる。(90分) 3 授業内容への質問，課題発表の内容について授業時間内にフィードバックを行う。					
評価方法	3 分の 2 以上の出席を満たしている場合，評価対象とする。 授業への参加状況(20%)，発表内容(40%)，レポート(40%)により，総合的に評価する。					
教科書・参考書	テキスト：特に指定しない。 参 考 書：下記に加え，適宜紹介する。 1 舟島なをみ編：「看護学教育学における授業展開」，医学書院，(2013/1)，3,520 円(税込) 2 田島桂子編：「看護学教育評価の基礎と実際 看護実践能力育成の充実に向けて」，医学書院，第 2 版(2009/6)，3,080 円(税込) 3 糸賀暢子他：「看護教育のためのパフォーマンス評価 ルーブリック作成からカリキュラム設計へ」，医学書院，(2018/8)，2,970円(税込)					
履修上の注意	本科目は歴史的な看護教育の背景を踏まえるとともに，最新の知見を用いて講義を構成する。そのため，参考図書や授業で提示する資料を十分に読み込み，積極的に授業に臨むことを期待する。 不測の事態で対面授業ができない場合は，遠隔授業に変更する場合がある。					
オフィスアワー	高橋佳子：月曜日 16:30～18:00 看護学部棟 4 階 N451 研究室 谷口千枝：月曜日 16:30～18:00 基礎科学棟 3 階 N367 研究室 ※ 兼担・非常勤講師については別紙で案内する。					